

日本共産党

天王台後援会 ニュース

〈天王台、東我孫子、高野山、泉、下ヶ戸、岡発戸、柴崎台、柴崎、青山台、青山、南青山地域〉

〈部内資料〉

住所 270-1138

我孫子市下ヶ戸 1825-19-103

電話 7184-2670,

発行責任者

中村良雄

歴史が示す「反共は戦争前夜の声」

高まる戦争反対の声と「ゆでガエル」になっている国民との格差
新聞・TV が政府の広報・宣伝の役割 報道の矜持を失った

「反共は戦争前夜の声」は元京都府知事の蜷川虎三さんが1950年に集会の時に話された言葉です。侵略戦争に突き進んだ戦前の日本の状況を踏まえての警告です。1928年には3・15事件が起きて日本共産党員が一斉検挙されました。岸田自公政権の下、反共攻撃が急速に高まっています。今日の政治状況が戦

前のあの時世に酷似していることに多くの国民が戦争への危惧を抱いていることです。反共攻撃は国政選挙や一斉地方選挙が行われると必ず出てきます。共産党の国民本位で命と生活を守る政策に危機感を強め共産党の議席の拡大を阻止する最大の武器だからです。

自公政府による報道への恫喝と「茹でガエル」報道の2面戦略

「戦争国家づくり」との一体の放送法の解釈変更は首相官邸が総務省に圧力をかけていたことが明らかになりました。「政治的公平」を堅持すべきマスメディアの矜持はどこへ行ったのでしょうか。歴代の自公政権はメディアへの介入に異常な執着を持っていました。理由は特定秘密保護法や集団的自衛権の行使の基に戦争国家に向けた戦時報道体制をつくる必要があったためです。



国民は「茹でガエル」にならないよう注意しましょう!

自公政権は、国民が「戦争反対」の声を上げることに危機感を持っています。アメリカの従属国としてアメリカの戦争に加担して中国との覇権あらそいに日本を抱き込むことをねらっています。国民がアメリカの狙いに気がついては都合が悪いのです。マスメディアを懐柔して国民を「茹でガエル」にすることです。「茹でガエル」ってなんででしょう。カエルは、いきなり熱湯に入れると驚いて逃げ出しますが、常温の水に入れて徐々に水温を上げていくと逃げ出すタイミングを失い、最後に死んでしまう。国民は環境の変化や危機の進行に気づいていながら、今は特に被害がないから楽観して重大な事

態を見過ごしやすくなります。今、国民はテレビ・新聞のWBCの野球に熱狂させられています。朝から晩まで野球、料理番組、旅番組、お笑い番組などが放映されています。

一部のマスメディアは反共攻撃に躍起です。共産党は「批判を許さない、綱領がおかしい」「党首の公選制が無い」「結社の自由が無い」「強権体質だ」などとバッシングが強まっています。私たちは、平和の大切さ、当たり前の暮らしの大切さへの危機意識を持つことが大事です。反共攻撃に負けず、澄んだ眼でバッシングに打ち勝ちましょう。(天王台後援会会長 中村 良雄)

軍事費43兆円あればこんなことができる

今年度から5年間で、軍事予算をGDP2%にふやすことが決まったけど、
国民は戦争準備ではなく平和の準備を求めています

子ども・教育・医療・福祉

- 高齢者医療費窓口負担を1割に戻す……300億円
- 公的保険医療の自己負担をゼロに……5兆1837億円
- 介護保険利用料無料に……1兆円
- ケア労働者200万人の処遇改善……2兆円
(全企業平均なみに月8万円の賃上げ)
- 消費税税率の5%に引き下げ……4兆3146億円
- 子ども・教育・学校給食無償化……4400億円
- 児童手当の高校までの延長と所得制限撤廃 ……1兆
- 大学・大学院の学費半額 ……1兆6500億円

(教育費の公的支出はOECD37か国中36位)

私たちが望むのは・・・賃金・年金を上げて、
物価・消費税を下げること

いまの暮らしは？



10年前と比べると、物価

てきたので、実質年金は、7,3%も減っている
というので、びっくりです。洋服などほとんど買
わずに暮らしています。若い人も、非正規雇用
の人は、家賃を払って一人で暮らしていけな
いようで、親と暮らしている人が多いです。

物価高で、生活が大変です。
食品の値上げがつらいです。
電気代が、1月はものすごく高額で
した。
寒いので、石油代もかかりました。
年金が減っているので、儉約、節約
です。

軍事費だけドンドン上げるなん
て、許せません。

医療費が2割負担になった
ので、1回医者に行くと、1万
円札がなくなってしまいます。
しかも、いろいろな病気が見
つかって医者に行くたびに2
倍払うことになって生活が厳し
いです。

中学生も高校生も、制服が高く、入学準備
にお金がかかりすぎです。

日本の学校は、義務教育は無償のはずなの
に、教材費などのお金がかかり、教育補助制
度があっても、受けられない人もいます。子ど
もを産みたくても産めないという声も聞きました。

2023年3月議会報告

5期目に入った星野市長の公約や予算案に対する審議を行う3月議会は、10人の議員が質問しました。日本共産党の岩井こう議員と、野村貞夫議員の質問内容は次の通りです。

質問内容



岩井議員

- これからの我孫子市について、
- 活力あふれたにぎわいあるまちづくり
- シャトルバス実証運行等。
- カーボンニュートラル実現するまちづくり
(再生可能エネルギー等)



野村議員

- 行きとどいた教育をめざして
- 教職員の残業・不登校対策

岩井こう議員の一般会計予算にたいする反対討論の要点

我孫子市の国民健康保険税率改定案通りに税率を見直した場合、税金として、約1億9千万円の歳入増が見込め、その際被保険者一人当たり約7500円増となるとしています。しかし、予算編成上では、まだ約1億8121万円の不足が生じる見込みとしています。諸物価が高騰し、とりわけ光熱水費がこれまでの2～3倍といった状況で、被保険者一人当たり7500円の増額は受け入れられる状況ではありません。

我孫子市の令和4年度末の財政調整基金の見込み額は、42億 1700万円で、必ずしも潤沢とはいえません。しかし、なんとしても一人当たり7500円の増額を食い止めるために、一般会計から国保会計への繰り入れを行うべきです。

日本共産党我孫子市議団の決議

国民健康保険税増額に反対

3月議会は予算議会でもあります。特に問題になったのは、国民健康保険税が、平均7500円増額になることです。一人当たりの値上げですから、家族が多ければかなりの負担増になります。この値上がりの原因は、国民健康保険制度として本来国が負担すべきものを減らしたことです。地方自治体の負担分が増えたことから、市民に値上げ分を負担させることになってきました。国民健康保険料を値上げすることに、日本共産党は反対しました。

今年度予算案に反対…一括採択のため

日本共産党我孫子市議団は本年度の予算案について、健康保険税を市民負担させずに、一般会計から国保会計へ繰り入れることを提案し予算案に反対しました。

天王台後援会 つどいのおさそい

4月28日(金)14時～16時 中川宅 (電話 7182-1615)

「我孫子市政を考えましょう」

我孫子の皆さん 憲法大集会に参加しましょう!

「新たな戦前にさせない! 守ろう平和といのちとくらし

2023 憲法大集会」

日時 **5月3日(水・祝日)**

午後13時から集会開催

場所 **有明防災公園**

(臨海線 国際展示駅から4分、ゆりかもめ有明駅 2分)

集合 **JR 我孫子駅改札口 午前11時**

革新懇の旗が目印

注意:持ち物:簡易椅子、ゴザ、帽子、飲み物、お弁当、手拭い、マスク

連絡先:我孫子革新懇 中村良雄 090-3964-3111



2023 年度「我孫子市憲法を考える市民のつどい」

講演「安保3文書」改訂と憲法

私たちの生活はどう変わるのか

日時 **5月5日(金)**

午後2時~4時 (開場:午後1時 40分)

場所 **我孫子市民プラザ・ホール**

(あびこショッピングプラザ内3階)

資料代:500円(高校生以下無料)

講師 **永山茂樹氏**(東海大学教授)

主催:我孫子市憲法を考える市民のつどい実行委員会

連絡先:中村良雄 090-3964-3111

